

ちょっと変わった国試対策

1. 『イラストで学ぶ生理学』 田中越郎著 医学書院
(生理学の意味がわかる)
2. 国試過去問は、まず「理論」を解き、1.、生理と解剖の教科書にチェックを入れる
医師など問題作成者が鍼灸あま指をどう見ているかが分かります
他の過去問も、生理、解剖、…の順で解き、1.、生理と解剖の教科書にチェックを入れる
3. 9月に出る『国民衛生の動向』で、死因などに変化があれば、覚え直す
4. 前々年9月から前年12月まででマスメディアで報道された病気は、よく国試に出ます

※

- ・私が見つけた自然則→「体は自然」(p6～p9)
- ・私の技術のうち一般化できたもの・・・→講座の基本コース(p10～p17)、実践例(p18,19)
まだ一般化できないもの→講座の応用コースで実演

※一般化：手順をふんで学べば6割以上が習得可能な稽古システムが作れたもの

- ・より詳しく言えば

1. 達人の技術＝自然則×達人の個性×常連の個性×時代の特性×場所の特性×…
2. いろいろな流派の達人の技術の共通点をさがすと、自然則は見つけやすい
(違いに目が行っているうちはうちは、上達しにくい)

3. 開業伝説…正しいとは限らないが

- ①初めの3か月が勝負
- ②先ずは隣の駅や隣の沿線で
- ③共同経営は失敗する
- ④ビラ：良くて「千三つ」悪いと「万が一」
- ⑤退職金開業などは、狙われやすい

→①十分な腕と経営能力が必要

- ②自宅で失敗すると後がない
- ③本田宗一郎氏と藤沢副社長はマレ
- ④0.3%くれば良いほう
- ⑤賠償保険は必須